



シルバー連合会

第33号

ふくおか

【平成24年8月発行】

目次

ご挨拶（福岡県 小川知事）……………	1	ふくおか子育てマイスター制度……………	6
ご挨拶（連合会 生田会長）……………	1	シニアワークプログラムのご案内……………	7
平成24年度定時総会及び役員研修会……………	2	センターだより（柳川市SC）……………	9
平成24年度安全就業促進大会……………	3・4	データで見る平成23年度事業実績……………	10
70歳現役応援センター開設……………	5	一言コーナー、マイショット、編集後記……………	11



「マイショット」

公益社団法人
福岡県シルバー人材センター連合会



シルバー人材センターに 期待すること

福岡県知事 小川 洋

福岡県シルバー人材センター連合会におかれましては、高齢者の皆さんに就業と社会参加を進められ、会員数2万7000人、年間受注額103億円と大きな業績をあげておられます。生田会長をはじめ、関係者の皆さんのご尽力に心から敬意を表します。

少子高齢化が急速に進行するわが国において、社会の活力を維持していくためには、高齢者の皆さんが豊かな経験、知識、技能を活かし、活躍する社会をつくっていくことが不可欠です。

そのため、県では、年齢に関わりなく、仕事やボランティア活動など、生き生きと活躍できる選択肢の多い社会、「70歳現役社会」づくりに取り組んでいるところです。

昨年は、シルバー人材センター連合会にも参加していただき、経済団体、労働者団体、高齢者団体、NPO団体及び行政からなる「福岡県70歳現役社会推進協議会」を創設し、官民一体となって「70歳現役社会」づくりを推進することといたしました。

今年4月には「70歳現役社会」の推進拠点として「福岡県70歳現役応援センター」を開所しました。たくさんの高齢者の皆さまが来所され、「応援センター」では再就職やボランティア活動などさまざまな相談をお受けしております。シルバー人材センター連合会にも出張窓口を設置していただいております。

加えて、「70歳現役社会」づくりの目玉事業の一つとして、シルバー人材センター連合会には今年7月から、「ふくおか子育てマイスター」の養成にも取り組んでいただいております。豊富な子育ての経験をお持ちの高齢者の皆さんを「子育てマイスター」として、毎年400人認定し、地域での子育ての相談や、子どもの預かり、保育所での子どもの世話や送り迎えなど、さまざまな子育ての現場で活躍いただくことを期待しているところであります。

今年から「団塊の世代」の皆さんが65歳を迎え、地域で就労を希望する高齢者の皆さんにとって、シルバー人材センターの役割はますます重要になってまいります。

「70歳現役社会」の実現のため、引き続き、皆さんのご理解とご協力を願います。

福岡県シルバー人材センター連合会および各地域のシルバー人材センターの皆さんのますますの御活躍を心から期待いたします。



連合ふくおか発刊にあたり

公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会

会長 生田 征生

常日頃から、連合会の事業運営について、格別のご理解とご協力を賜っていることに、厚く御礼申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災は、かつて経験したことのない大災害となりました。また、福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故は、近隣住民の方々にとっては、見えない物に対する恐怖感や風評等もあり、地域社会の崩壊の危機に直面する事態となっております。

しかしながら、災害救助に当たる方々や多くのボランティアの活躍等と共に被災者同士がお互いに助け合う姿は、失われつつある人の絆の大切さを思い起こさせました。被災地の一日も早い復旧・復興を願う次第です。

さて、いよいよ超高齢社会を迎え、高齢者の豊富な経験、知識を生かし地域社会の活性化の一翼を担い、生き生きと活動するシルバー人材センターの社会的な役割は、今後、ますます重要となっていきます。しかし、国の補助金の大幅削減、地域経済の停滞等、シルバー人材センターを取り巻く社会環境は、一段と厳しさを増しています。この状況を真摯に受け止め、事業に携わる関係者一同、心を一つにして相互に知恵を出し創意工夫し、シルバー人材センターに望まれた役割を果たし、地域社会に有用な組織であるという評価をこれまで以上に得ることが、これからの課題ではないかと思っております。

このようななか、当連合会は、昨年6月1日から公益社団法人へ移行、公益事業団体として活動を始めました。これからは、シルバー人材センターの意義、事業の効果を再検証し、地域に貢献するシルバー事業の推進に、更に努めることとしています。また、活動拠点におかれては、新しい時代に即応する体制で地域の特性を生かしたシルバー事業を積極的に推進し、広報誌やマスコミ等をおして開かれた魅力あるシルバー人材センターについて、より強力でPRしていただきたいと思います。連合会といえども、各センターとの連携を更に強め、一層の努力を続けていきたいと考えています。

これからの県内センターの益々のご発展と、役員、会員の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念いたします。

平成24年度 定時総会及び役員研修会

平成24年6月20日午後1時から博多都ホテル三階孔雀の間において、平成24年度の定時総会を開催しました。

生田連合会会長のあいさつに続き、来賓の福岡労働局職業安定部金刺義行部長及び福岡県福祉労働部新雇用開発課山田信吾課長が定時総会の開催にあたり、励ましのこたばを述べられました。

公益社団法人移行後の最初の総会とあって緊張感漂う雰囲気のもと、議長に公益社団法人大野城市シルバー人材センター中牟田長純理事長を選出、定足数43人のところ委任状を含め42人（1人欠席）の出席により議事が始められました。

議案は以下のとおりです。

第1号議案 平成23年度事業報告（平成23年6月1日～平成24年3月31日）

第2号議案 平成23年度決算報告及び監査報告（平成23年6月1日～平成24年3月31日）を一括審議、満場一致で可決承認。

第3号議案 公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会定款の一部改正について諮ったところ、満場一致で可決承認。

第4号議案 公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会会費規程の一部改正について、慎重に審議した結果、満場一致で可決承認。

第5号議案 役員の選任について、連合会理事及び監事の辞任に伴う、理事1名、監事1名の選任を議場に諮ったところ、次のように選任され承認。

理事 箱田徳充 社団法人粕屋町シルバー人材センター理事長

監事 池田清巳 公益社団法人小郡大刀洗広域シルバー人材センター理事長

任期は平成25年度定時総会の終結の時まで

議案の審議は終わり、報告事項に移行、事務局から次のような報告がありました。

- (1) 平成23年度予算実績比較報告書
- (2) 平成24年度事業計画
- (3) 平成24年度収支予算

以上3件の報告について、議長は報告事項として承認する旨を述べ、全ての審議の終了を宣言、降壇されました。

役員研修会

定時総会終了後、役員研修会を開催しました。「組織と自身の活力アップ」組織モチベーションを向上させるポイント」と題し、コーチングT A O代表待鳥良邦氏による講演をお願いしました。組織モチベーションの向上のための経営層の役割、自身の組織への望ましい関わり方、影響力や持続的なモチベーション維持ができる組織作り等について、実例や実生活に即して話され、管理者自身が自分を開示しなければ部下は心を開いてくれないこと、「見た目」の大切さなど、組織の中の「自分」について、改めて見直すきっかけになったのではないかと思います。

平成24年度 安全就業促進大会



平成24年7月5日(木)、安全就業強化月間の一環として、大博多ホール(福岡市博多区)において、安全就業促進大会を開催しました。県内全センター(42センター)から総勢338名が参加し、安全就業優良センターや安全標語の表彰、事例発表や講演などとともに、閉会時には「安全就業宣言」を行い、参加者全員が「安全就業」の徹底を誓いました。

当連合会の安全・適正就業対策委員会の竹内博孝委員長(公社)行橋市シルバー人材センター理事長)による開会のあいさつに始まり、生田会長あいさつ、来賓あいさつの後、安全就業センターの表彰、安全標語入選作の表彰に関する経過報告と表彰を行いました。

安全就業センターの表彰については、本年度は(公社)柳川市シルバー人材センター、(公社)岡垣町シルバー人材センター、(公社)志免町シルバー人材センターの3センターが受賞しました。昨年と比較、半数となりましたが、いずれも大きな事故はなく、また無災害、無事故に努力しているセンターです。また、(公社)岡垣町シルバー人材センターは、2年連続の受賞となりました。

安全標語については、今年度は282点の応募があり、そのうち過去の作品と重複した5点を除き、当連

合会内に設置された安全標語審査委員会による審査を行いました。その結果、右の、最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作5点の計8点が選ばれました。本大会で表彰を受け、入賞者の皆さんには、表彰状とともに、記念品が贈られました。いずれも力作です。

優秀賞

危ないと 思う心が 身を守る

(公社)朝倉市SC

井手 俊邦様

優秀賞

あわてるな 急ぐ気持ち が 招く事故

(公社)糸島市SC

藤元 高行様

災害は 慣れと 油断と気の緩み

(社)那珂川町SC

徳田 博之様

佳作

就業日 帰路につくまで 気を抜くな

(公社)築上町SC

荒石 哲夫様

小さな危険 重ねるうちに 大災害

(公社)田川地区SC

安部 治隆様

気の焦り 急ぐ心が 事故招く

(公社)大川市SC

古賀喜代次様

ヒヤッとしたあの一瞬を忘れるな 次に生かそう危険予知

(公社)遠賀町SC

山田 宏生様

身を守る 仕事に合った 身だしなみ

(公社)福岡市SC

小林 修様



なお、最優秀賞の井手俊邦さん（朝倉市SC）は、本大会の2日前、豪雨災害によりお亡くなりになりました。井手さんはセンターの副理事長にも就任され、安全就業について見識も深く、これからの活躍が期待されていました。大会では、同センター理事の北原弘人さんが代理として受賞されましたが、表彰前に哀悼の意を表し、参加者全員で黙祷を捧げました。心よりご冥福をお祈りします。

表彰後は、竹内委員長から委員会報告がありました。委員会による年間事業報告や安全・適正就業現場パトロール報告が行われ、昨年度は重篤事故が1件だったものの、入院事故が増加していること、また、草刈（刈払機）の石飛ばしによる賠償事故が後を絶たないことなどが挙げられました。また、注意さえすれば石飛ばしは防げ、今後、研修のなかで取り上げていく方針も報告されました。

事例発表は、（公社）志免町シルバー人材センターの実藤隆雄さん（職員、安全推進員）から、安全就業に関する取り組み事例が紹介されました。同センターは、今年度、優良センターとして表彰されただけあって、平成21年から24年にかけて893日の無災害記録を達成しています。また、受注時の「現場確認」も怠らないことが、無事故に繋がっていることも話しておられました。他センターも心がけていただきたいと思います。

福岡県警察博多警察署による交通安全講話については、高齢者の交通事故防止、飲酒運転撲滅、自転車の運転ル



ルと事故という、3つのテーマがありました。博多警察署交通総務係の小林高德係長は、夜道や暗い場所での歩行時は、できるだけ明るい服装にし、反射材などを使用すること、飲酒運転は犯罪であり、多くの人を悲しませることを強調されました。また、自転車は「軽車両」であり、原則車道通行（左側）であり、急増する事故を防ぐには、徹底してルールを守ることが必要であることも、強く話されました。私も、肝に銘じて自転車に乗りたいと思います。

講演は、「心の健康と安全就業」セルフケアではじまる安全な職場づくり」と題して、（有）リンクプロジェクトの古賀理恵子先生にいただきました。心の健康は、そのまま安全就業にも影響すること、またストレスのチェック法なども紹介され、自己管理が大切なことも話されました。シルバー人材センターは職場ではありませんが、仲間同士で仕事することは職場にも匹敵し、相互の人間関係や支え合いが大切です。自己管理とともに、相手を思いやる声かけも大切です。

大会の締めくくりとして、（公社）福岡市シルバー人材センター安全・適正就業専任担当理事の松尾慎治さんによる安全就業宣言が行われました。松尾さんの力強い宣言の後、当連合会安全・適正就業対策委員会の萩原信吾副委員長（（公社）福岡市シルバー人材センター事務局長）による閉会のあいさつにより、今年度も盛会のうちに閉会しました。



福岡県 70歳現役応援センター開設

高齢者の多様な活躍の機会を得られるよう、就業や社会参加を支援する総合拠点として、福岡市博多区に、福岡県70歳現役応援センターが開設しました。

公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会も、出張窓口を設け、シルバー人材センターの紹介や、入会相談などを受け付けています。

福岡県では、高齢者が“年齢にかかわらず、それぞれの意思と能力に応じて、70歳になっても働いたり、NPO・ボランティア活動等を通じて社会で活躍し続けることができる選択肢の多い社会”を目指しており、平成23年9月21日、福岡県70歳現役社会推進協議会が設立されました。当連合会も構成団体として参加してきましたが、そのなかで高齢者の多様な活躍の機会を得られるよう、就業や社会参加を支援する総合拠点が必要との認識から、福岡県70歳現役応援センターが開設されることとなり、平成24年4月23日、福岡市博多区にグランドオープンしました。

当連合会も毎週火曜日午前10時から午後4時まで、シルバー人材センターに関する問い合わせや、入会案内、シニアワークプログラム地域事業における講習案内などを行っています。

このセンターの主な取り組みとしては、

- 1 70歳まで働ける企業や高齢者が活躍できるNPO・ボランティア団体の拡大
- 2 専門相談員による高齢者の希望にあった就職や社会参加など多様な選択肢の紹介、
マッチング支援
- 3 企業に対する高齢者雇用の優良事例紹介セミナーや、
退職前の人に対する第二の人生設計を提案するセミナーの開催
- 4 子育ての知識や経験を持つ高齢者が、子育て支援で活躍できる

「ふくおか子育てマイスター」の養成
などです。

シルバー人材センターだけでなく、NPOやボランティア活動に興味がある方は、ぜひ一度、お訪ねになってみてはいかがでしょうか？

福岡県70歳現役応援センター

ご利用時間 / 月曜～金曜 9:30～18:00
(土・日・祝日、および年末年始を除く)

お問い合わせ

相談・個別コンサルティング(職業紹介等)

☎092-432-2577

企業相談・セミナー

☎092-432-2512

FAX 092-432-2513

ホームページ <http://70-f.net/>

所在地 / 福岡市博多区博多駅東1-1-33 はかた近代ビル5階



福岡県高齢者
子育て支援
推進事業

ふくおか子育てマイスター制度が はじまりました

豊富な経験を持つ高齢者が、地域の子育てを応援する福岡県独自の制度です。

60歳以上の子育て支援活動に関心がある方を「子育てマイスター」として認定・登録し、様々な形で活躍頂けるようお手伝いします。まずは今年度8回開催される「ふくおか子育てマイスター認定研修会」を受講ください。シルバー人材センターのサービスをより良いものへと高め、県民の方々に広く知っていただくチャンスです。たくさんのご参加をお待ちしています。

ふくおか子育てマイスターへのステップ！

ふくおか子育てマイスター
認定研修を受講



全カリキュラム修了で
認定証交付



ふくおか子育てマイスター
として登録、活動！

ふくおか子育てマイスター認定研修会
カリキュラム(全7日間・30時間)

1日目	4時間	子育て支援とは？
2日目	5時間	子どものことを知る
3日目	4時間	健康と安全
4日目	5時間	子どもと遊び
5日目	2時間	子育て支援の実際
	2時間	親のことを知る
6日目	4時間	コミュニケーションの方法
7日目	2時間	支援者としての私
	2時間	子育てマイスターとして

第1期ふくおか子育てマイスター認定研修会
日程一覧

開催地	場所・日程
春日市	クローバープラザ 9月4、5、11、12、19、24、27日
北九州市	ウェルとばた 9月6、10、13、20、25、26、28日
飯塚市	イヅカコミュニティセンター 10月1、2、3、10、17、19、24日
小郡市	小郡市総合保健福祉センター あすてらす 10月5、9、15、18、22、25、30日

第2期は11月～2月にかけて、久留米市、福岡市(2回)、行橋市で開催予定です。9月末に申込開始です。

- 対象者 福岡県在住の60歳以上の方
定員 各会場50名(申込多数の場合、抽選で受講者を決定します。)
締切り ①春日市、北九州市... 8月22日(水) ②飯塚市、小郡市... 9月19日(水)
申込書設置場所 各地域のシルバー人材センター、開催地市役所担当課など
応募方法 申込書を記入の上、下記まで郵送またはFAXにてお送りください。受講の可否は締切り後ご連絡差し上げます。



応募・お問合せ先

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1丁目1-33 はかた近代ビル5F
福岡県70歳現役応援センター内「ふくおか子育てマイスター」コーナー
TEL 092-481-1312 FAX 092-432-2513

窓口相談 月・水・金 10:00～16:00

電話相談 月～金 9:00～17:00

シニアワークプログラムのご案内

シニアワークプログラム事業とは

県内在住の55歳以上の就職希望者を対象に、雇用を前提とした技能講習並びに職場体験及び合同面接会を行い雇用就業を支援する事業です。この事業は、福岡県シルバー人材センター連合会が、厚生労働省より受託した、国の事業です。

技能講習

地域の事業主団体等の協力のもと、雇用を前提とした技能講習を実施します。この技能講習は、事務系、警備、造園等々に従事するにあたって必要な知識と技術の基本課程を取得するものです。

技能講習の地域 福岡、北九州、筑豊、県南で行います。

技能講習の種類



訪問介護員養成研修

訪問介護員 2 級の資格取得を目的として実施し、合計132時間（約24日間）の受講となり、研修修了と同時に修了証明書が授与され、資格取得ができます。



職場体験

本年度から高齢者の多様な雇用・就業ニーズに対応し、再就職及び就業を促進するための職場体験事業を実施しています。体験講習は次の4類型で実施しています。

①技能講習一体型

技能講習のカリキュラムの一環として、現場での職場実習を行うことにより再就職に対する意欲の喚起と不安の解消を図る。

②事前体験型

技能講習の受講前に、職場体験をしてもらうことにより業種への向き・不向きなどを判断してもらい技能講習への受講意欲を図り就職のミスマッチの解消に繋げる。

③講習修了後型

技能講習修了後に現場体験することにより更なるスキルアップを図り雇用就業に繋げる。

④単独型

技能講習の受講とは関係なく、企業事業主等が求める人材ニーズと高齢求職者の免許・資格等のスキルが一致する人が、職場体験することで早期のマッチングによる就職の促進を図る。



応募資格

県内在住の55歳以上のお仕事をお探しの方で、ハローワークで求職登録をしていることが条件です。

平成24年度 シニアワークプログラム 技能講習・職場体験講習実施計画

【技能講習】

【職場体験】

エリア	開催地	種類	講習名	実施回数	講習日数	受講予定 (1回当たり)
福岡	福岡市	重点	警備・受付管理講習	1	8	25
	福岡市		マンション管理員講習	4	8	25
	福岡市		ビジネスパソコン実務講習	4	8	25
	福岡市		パソコン講師補助講習	1	8	25
	福岡市		販売事務講習	1	8	25
	福岡市		介護事務講習	1	8	25
	福岡市		フォークリフト講習	4	7	20
	福岡市		訪問介護員養成講習	1	23	25
	福岡市	通常	樹木・緑地管理講習	2	10	25
	筑紫野市		樹木・緑地管理講習	1	10	25
	福岡市		医療事務講習	1	8	25
	福岡市		パソコン会計事務	1	8	25
	福岡市		テレコミュニケーター養成講習	1	8	25
	福岡市		社会保険入門講習	1	8	25
	福岡市		建築 CAD 講習	1	8	25
	福岡市		農林機械機具取扱講習	2	8	25
北九州	北九州市	重点	警備・受付管理講習	1	8	25
	北九州市		マンション管理員講習	1	8	25
	北九州市		ビジネスパソコン実務講習	1	8	25
	行橋市		ビジネスパソコン実務講習	1	8	25
	北九州市		パソコン講師補助講習	1	8	25
	北九州市		販売事務講習	1	8	25
	北九州市		介護事務講習	1	8	25
	北九州市		フォークリフト講習	1	7	20
	北九州市	訪問介護員養成講習	1	23	25	
	北九州市	通常	樹木・緑地管理講習	1	10	25
	北九州市		医療事務講習	1	8	25
	北九州市		テレコミュニケーター養成講習	1	8	25
	北九州市		農林機械機具取扱講習	1	8	25
	久留米市		重点	警備・受付管理講習	1	8
柳川市	ビジネスパソコン実務講習			1	8	25
久留米市	販売事務講習	1		8	24	
久留米市	介護事務講習	1		8	24	
久留米市	通常	樹木・緑地管理講習	1	10	25	
久留米市		パソコン会計事務講習	1	8	25	
久留米市		農業支援講習	1	7	25	
久留米市		緑化管理講習	1	8	25	
筑豊	飯塚市	重点	ビジネスパソコン実務講習	1	8	20
	飯塚市		訪問介護員養成講習	1	23	25

エリア	開催地	講習名	実施回数	講習日数	受講予定 (1回当たり)
福岡	福岡市	辛子明太子製造	3	1	15
	福岡市	介護・福祉の現場体験(技能講習事前型)	2	1	15
	福岡市	介護・福祉の現場体験(技能講習修了後型)	1	2	15
	福岡市	駐輪場管理員	2	1	15
	福岡市	パソコン講師補助	1	1	15
	福岡市	網戸・襖・障子貼り	1	1	15
	福岡市	ハウスクリーニング	1	1	15
	北九州	北九州市	介護・福祉の現場体験(技能講習事前型)	1	1
北九州市		介護・福祉の現場体験(技能講習修了後型)	1	2	15
北九州市		駐輪場管理員	1	1	15
北九州市		網戸・襖・障子貼り	1	1	15
北九州市		ハウスクリーニング	1	1	15
県南	うきは市	農産物加工	6	1	15
	久留米市	グリーンアドバイザー	4	1	15
	柳川市	網戸・襖・障子貼り	1	1	15
	久留米市	ハウスクリーニング	1	1	15
	筑豊	未定	介護・福祉の現場体験(技能講習修了後型)	1	2
直方市		パソコン講師補助	1	1	15
飯塚市		駐輪場管理員	1	1	15
未定		網戸・襖・障子貼り	1	1	15
飯塚市		ハウスクリーニング	1	1	15

応募資格

県内在住の55歳以上のお仕事をお探しの方で、ハローワークで求職登録をしていることが条件です。

雇用・就業中の方は応募できません。

今年度既に当連合会の各講習会を受講された方を除きます。

講習期間及び会場はシルバー人材センター連合会、公共職業安定所、最寄りのシルバー人材センターにお問い合わせ下さい。



柳川市シルバー人材センター

当センターは、福岡県南部に位置し、人口約71000人、平成24年7月1日現在の会員数は583名となっております。古くは、立花藩12万石の城下町としてこの地方の政治、経済、文化の中心として栄えました。市内にはクリーク(堀)が縦横に走り、旧城下町としてのたたずまいと柳川出身の詩人・北原白秋の詩歌の母体となった水郷の美しさは他では見られない独特の情緒を漂わせております。特に、1月末〜4月初旬には柳川雛祭り「さげもんめぐり」を開催し初節句を柳川まり・ひな飾り等で華やかに飾って祝うという風習が今なお続き柳川の伝統を守っております。不知火燃ゆる有明海に面し、海苔などの豊富な海産物や、年間を通して観光客の目玉となっている川下り、そして堀沿いの美しい白壁、立花藩の別邸である西洋館「御花」、北

原白秋の生家、うなぎめし、最近では大関に昇進した大相撲の琴奨菊関の出身地であり県内でも有数の観光地として、今年の5月には九州市長会も開催されました。

反面、60歳以上の人口比率は約30%と高齢化が進んでおり、昔の中心地であった商店街も郊外の大形店舗に押され、閑散としています。そこで当センターでは高齢者の方の地域の中でふれあい、楽しみ、生きがいを見つけていただきたいとの思いで厚生労働省採択の企画提案方式事業として軽食・食堂「つどい」を平成23年11月1日にオープンし活動しております。定食(コーヒー付き500円から)と弁当販売(350円から)でスタートし、まだまだ手探りの状態での販売・営業ですが、最長寿(83歳)の会員の方も就労され、



地域の憩いの場として地元の新聞(有明新報)でも来店者の評判を呼んでいると紹介されています)などでも取り上げられ、町おこしの一環として非常に注目されています。

その他にも、健康体操講座や農業体験講習、環境に配慮した廃油せっけん作りや、伝統を若い世代に伝えていく為のさげもん作り教室、郷土料理教室を積極的に開催したり、登下校時の子どもを見守る「子ども見守り隊」活動を実施しています。また、今後は9月から子育て支援として、子どもの一時的預かり事業も立ち上げ、地域とシルバーの会員の繋がりを強く結んでいきたいと思えます。

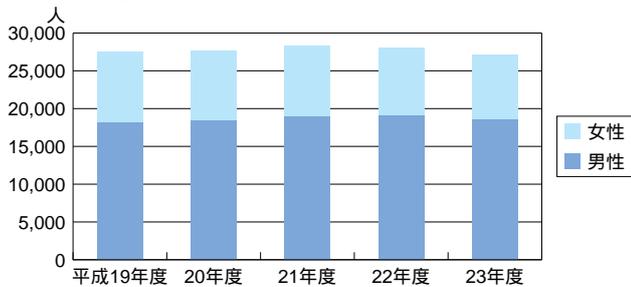
そして、今年の7月に当センターが安全就業促進大会において表彰されたように、今後もシルバーの会員が安心して、安全に就業できるような環境作りや指導を、会員とセンターとの二人三脚で進めていきたいと思えます。

データで見る平成23年度事業実績

福岡県内の平成23年度の事業実績を取りまとめましたので、主要なデータを5年間の推移を含め紹介します。(伸び率は、平成19年度を基準にしています。)

残念ながらほとんどの項目で数字が落ちており、シルバーを取り巻く状況の厳しさが浮き彫りとなる結果です。景気の低迷、適正就業の徹底等で今後も実績回復には時間を要するでしょうが、地域に必要な存在とされるよう、魅力的なシルバーを目指し今後も努力を続けていきたいと思います。

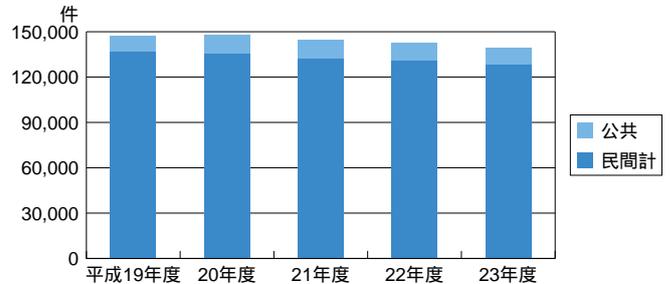
1. 会員数



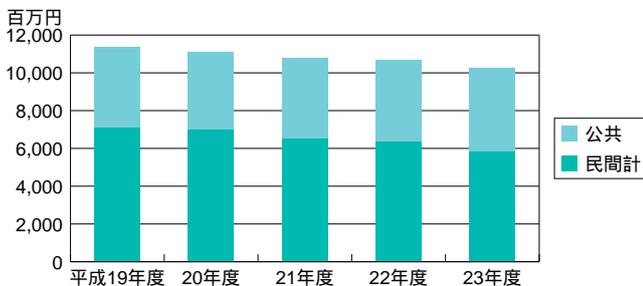
区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
男性	18,184	18,343	18,996	19,044	18,488
女性	9,336	9,362	9,297	9,095	8,659
合計	27,520	27,705	28,293	28,139	27,147
伸び率	100.0%	100.7%	102.8%	102.2%	98.6%

2. 受注件数

区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
合計	147,512	147,680	144,743	142,576	139,195
伸び率	100.0%	100.1%	98.1%	96.7%	94.4%



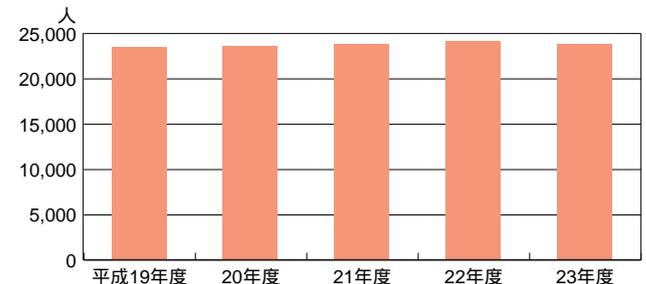
3. 契約金額



区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
公共	11,339	11,111	10,797	10,677	10,256
民間計	11,339	11,111	10,797	10,677	10,256
合計	11,339	11,111	10,797	10,677	10,256
伸び率	100.0%	98.0%	95.2%	94.2%	90.4%

4. 就業実人員

区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
就業実人員	23,413	23,538	23,790	24,066	23,732
伸び率	100.0%	100.5%	101.6%	102.8%	101.4%



5. 就業延人員



区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
就業延人員	2,610,901	2,568,121	2,493,706	2,494,417	2,410,832
伸び率	100.0%	98.4%	95.5%	95.5%	92.3%

マイショット



「ひまわり園」
(朝倉市杷木町)

撮影者 当連合会職員
筑紫野市在住

1万6千㎡の畑に、約16万本の
ひまわりが見事に咲き誇り、幸せ
の黄色一色でした。

ひまわりの花言葉の一つ「あなた
を見つめています」。



一言

コーナー

インターネットで、数多く紹介されているダライ・ラマの名言です。

ダライ・ラマに「人間に関して、最も驚くことは何ですか」と聞いたところ、こう答えたそうです。

「お金を稼ぐために健康を犠牲にして、健康を取り戻すためにお金を犠牲にすることです。未来のことを心配しすぎて、現在を楽しめてないことです。結果どうなるかという、未来も現在も生きていないことになる。

そして、まるで自分は死なないかのように生きて、まるで実際に生きていなかったかのように死ぬことです」

とても奥深い言葉です。また、身の回りを見渡すと感じることもあります。

確かに、私たちは収入を得るために、昼夜をいとわず仕事をして身体をこわしたりします。また、「過労死」という言葉も他人事ではないかも知れません。

一方では、サプリメントを服用する人も少なくありません。また、フィットネスクラブなどでランニングマシンなどを使用するのは、お金を払って走っているともいえます。

もちろん、これらの行為を否定する訳ではありませんが、健康や未来への不安から、矛盾した行動をとり、人生が楽しくなくなってしまふこと、これは不幸なことだと思います。

また、「死なないかのように生き、生きていなかったかのように死ぬ」のは、自分の人生を否定するような生き方になってしまいます。

「息抜き」「ストレスの発散」「肩のチカラを抜くこと」、よく使う言葉ですが、実際にできていないことかも知れませんね。でも、きょうは一息ついて、好きなコーヒーをすすりながら、仕事を忘れて好きな音楽を聴く、と心に決めました。

編集後記

今年の北部九州は豪雨に見舞われ、各地で河川の氾濫による浸水や土砂崩れによる家屋の倒壊など、多くの被害が発生しました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。また、福岡県内においては、安全就業促進大会のページにもあるとおり、安全標語最優秀賞を受賞された、朝倉市シルバー人材センター副理事長の井手俊邦さんが被災され、お亡くなりになりました。ご冥福をお祈りするばかりです。

梅雨明け以降は、大変暑い夏が続いています。昨年の東日本大震災以降、電力不足の懸念から「節電」に心がけていらつしやる方も多いと思います。が、家屋内、建物内でも熱中症は起こりますので、無理をせず、暑い日はエアコンなどの空調機器を使用して、体調管理にお気をつけいただきたいと思ひます。

先日、テレビやラジオで「スイカを食べて熱中症を防ごう」という、東京で開催されたイベントを報道していました。水分を多く含むスイカや果物を食べて水分補給したり体温を下げたりして熱中症予防をしようという企画です。手軽にできそうですね。

残暑に負けることなく、中秋の名月、馬肥ゆる秋を迎えたいと思います。



公益社団法人
福岡県シルバー人材センター連合会

〒812 0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル8階
TEL092 623 5656 FAX092 623 5677
(URL) <http://www.fscr.or.jp>



この印刷物は、石油系有機溶剤の一部を大豆油に置き換えたソインキを使用しています。